

保護者様

我孫子市立並木小学校

校長 海野 義彦

並木小学校に関する調査（学校評価アンケート）集計結果について

早春の候、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
さて、本年度の並木小学校に関する調査（学校評価アンケート）の集計がまとまりましたので、ご報告します。

今回の結果を真摯に受け止め、教職員一同、子ども達の一層の成長を目指し、より良い教育活動に努めていきます。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。

1. 集計数

	在籍数	集計数	回収率
児童	297	283	95.3%
保護者	297	210	70.7%
教職員	45	39	86.7%

2. 集計内容

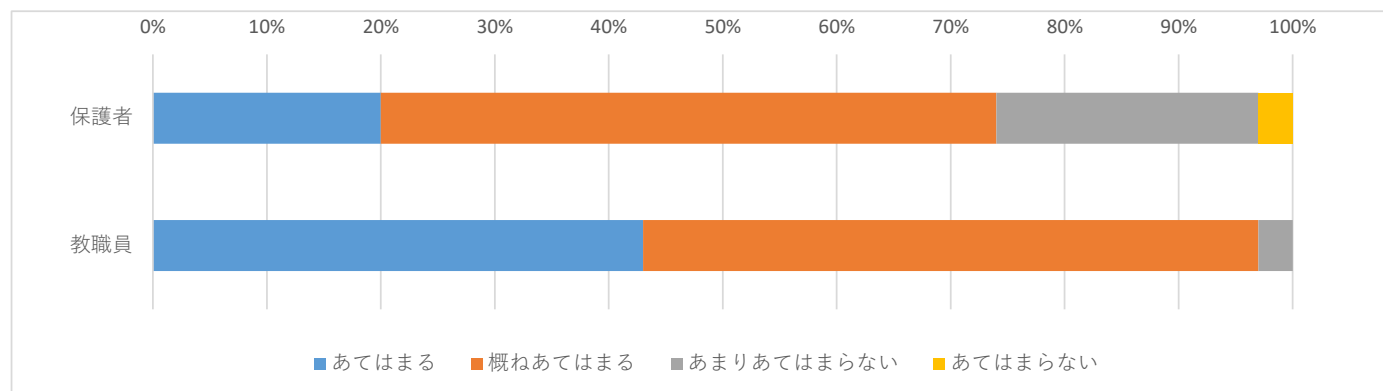
※ 〈保〉は保護者質問項目、〈児〉は児童質問項目、〈教〉は教職員質問項目を表しています。

※ 表内の数字、及びグラフ表示は百分率（四捨五入して整数）で表示しています。

(1) 【小中一貫教育の推進】について

① 久寺家中学校区（並木小・根戸小・久寺家中）では、小中一貫教育の充実に努めている。〈保・教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	20%	54%	23%	3%	100%
教職員	43%	54%	3%	0%	100%



〈考 察〉

【あてはまる】と【あまりあてはまらない】で保護者と教職員の意識に大きな差が見られました。小中一貫というと、一貫校や小中一緒の活動をイメージするかと思いますが、我孫子市ではカリキュラムで小中を接続しています。その部分は目に見えてわかるものではないため、わかりにくい部分があると思います。今後は、我孫子市教育委員会より発行されている『繋』をスクリーン配信するなど理解促進を図ります。

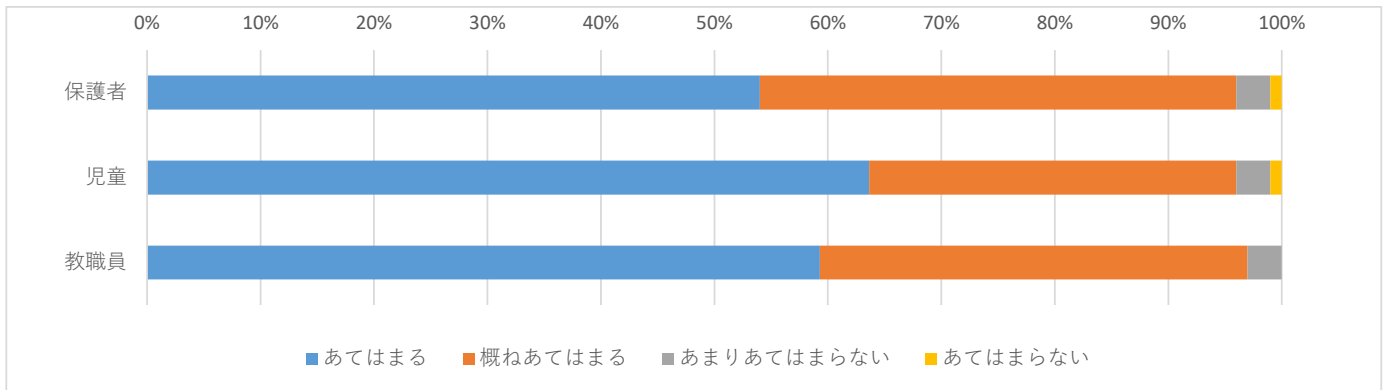
(2) 【学校生活】について

② 子どもは、楽しく学校に通えている。〈保〉

わたしは、楽しく学校に通っている。〈児〉

並木っ子は、楽しく学校に通ってきている。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	54%	42%	3%	1%	100%
児童	64%	32%	3%	1%	100%
教職員	59%	38%	3%	0%	100%



〈考 察〉

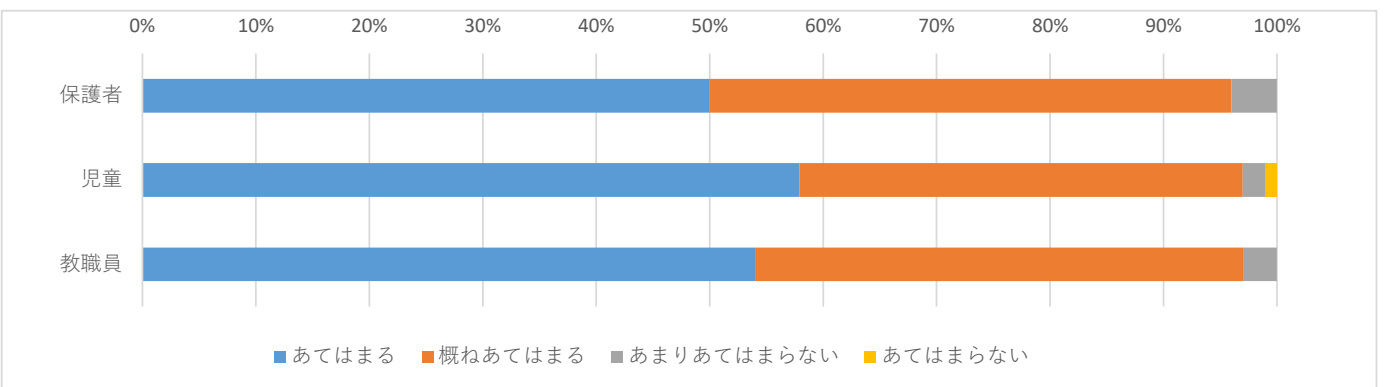
保護者と児童、教員に意識の差はほとんど見られず、肯定的な回答が96%以上と高い水準となりました。これは、昨年度ともほぼ変わらない結果です。少数ですが、否定的な回答の児童への支援を講じるとともに、今後も、児童にとって魅力ある学校づくりを進めていきます。

③ 子どもには、決まりやルールを守ろうとする意識が育っている。〈保〉

わたしは、きまりやルールを守ろうと意識して生活している。〈児〉

私は、並木っ子が決まりやルールを守る意識が育つよう指導している。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	50%	46%	4%	0%	100%
児童	58%	39%	2%	1%	100%
教職員	54%	43%	3%	0%	100%

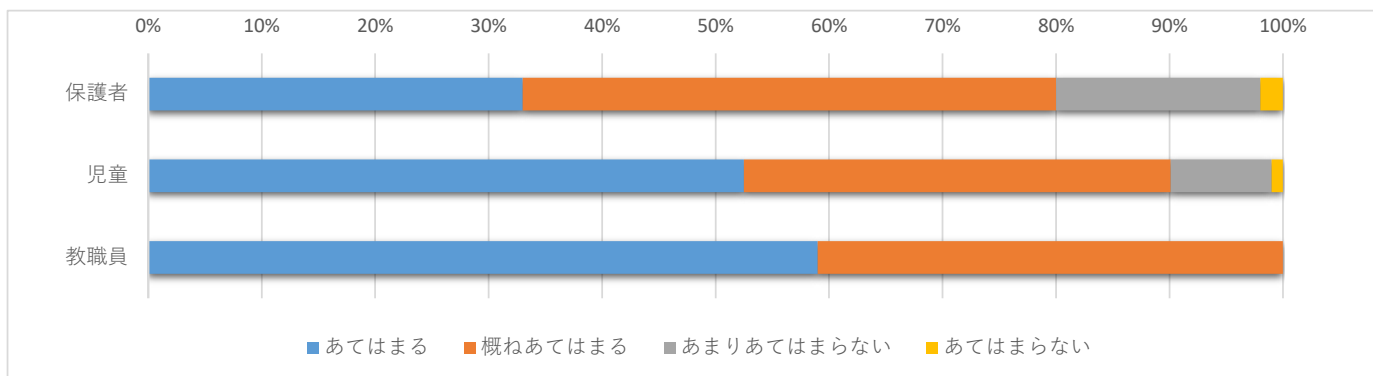


〈考 察〉

保護者と児童、教職員ともに96%以上が肯定的な回答となっており、高い規範意識が見られます。安全安心な学校生活には、規範意識に伴う周りへの配慮が必要不可欠です。今後も規範意識を育むとともに、なぜルールを守るのか、決まりがあるのかを考えられる指導を丁寧に進めていきます。

- ④ 子どもは、家庭の中で自分から進んであいさつができています。〈保〉
 わたしは、学校や家で自分から進んであいさつができています。〈児〉
 私は、並木っ子が学校の中で自分から進んであいさつできるよう指導している。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	33%	47%	18%	2%	100%
児童	53%	38%	9%	1%	100%
教職員	59%	41%	0%	0%	100%

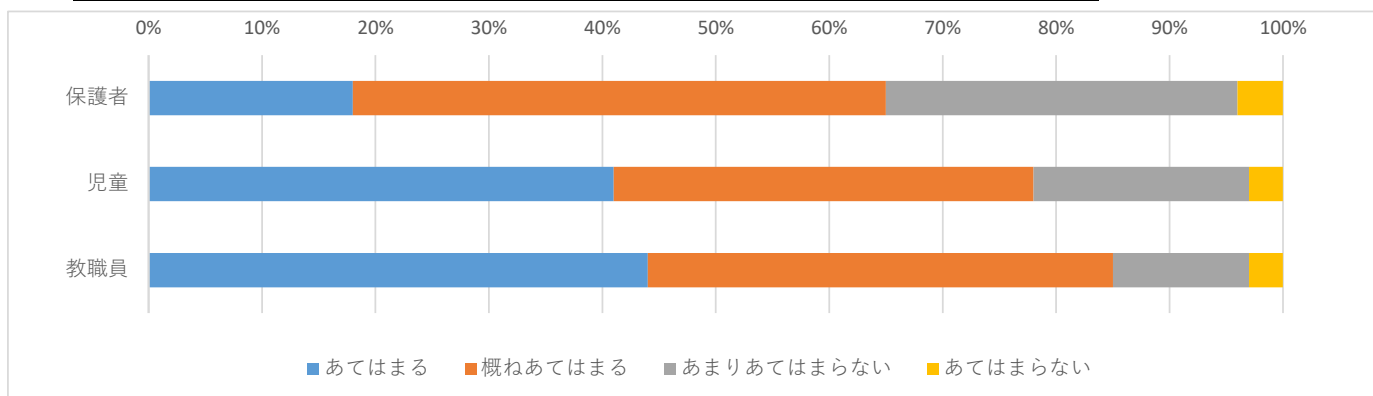


〈考 察〉

保護者は80%、教職員は100%肯定的な回答となっています。家と学校で若干の乖離が見られます。児童の回答に照らし合わせると、児童は挨拶ができていますと認識している一方、保護者の求める挨拶の定着には至っていない可能性があります。今後も相手に伝わる挨拶ができるよう指導していきます。

- ⑤ 子どもは、地域の方に自分から進んであいさつができています。〈保〉
 わたしは、地域の方に対して自分から進んであいさつができています。〈児〉
 私は、並木っ子が地域の方に自分から進んであいさつできるよう指導している。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	18%	47%	31%	4%	100%
児童	41%	37%	19%	3%	100%
教職員	44%	41%	12%	3%	100%



〈考 察〉

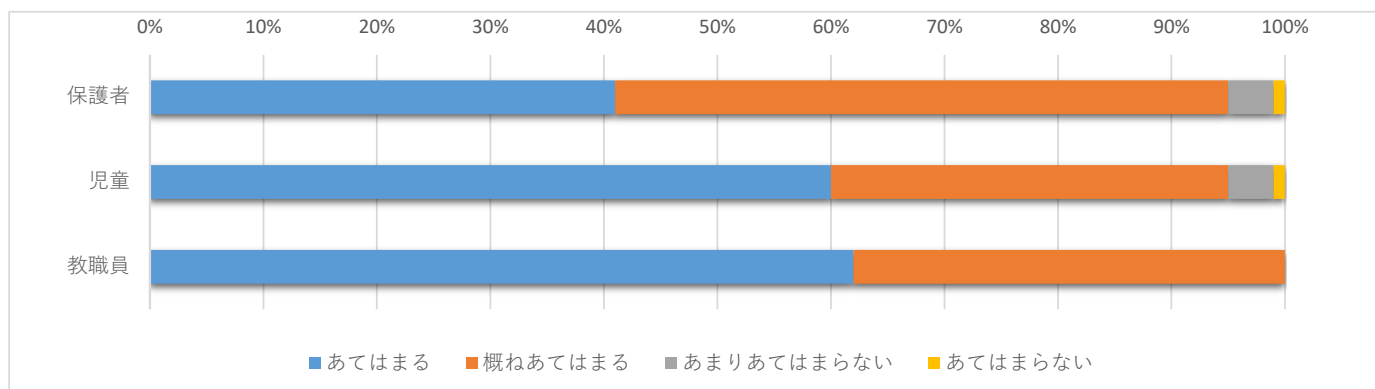
保護者は65%、児童は78%、教職員は85%と肯定的な回答に大きな差が見られました。保護者・児童・教職員ともに、地域の方への挨拶はまだ不十分であると認識していることがわかります。地域の方との交流を進め“顔見知り”を増やすことで、自然と挨拶ができる関係づくりを推進するとともに、地域の活性化や防犯面からも挨拶を励行していきます。

⑥ 子どもには、周りの友だちへの思いやりの心が育まれている。〈保〉

わたしは、周りの友だちに思いやりを持って関わることができている。〈児〉

私は、並木っ子が周りの友だちに思いやりを持って関わるよう指導している。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	41%	54%	4%	1%	100%
児童	60%	35%	4%	1%	100%
教職員	62%	38%	0%	0%	100%



〈考 察〉

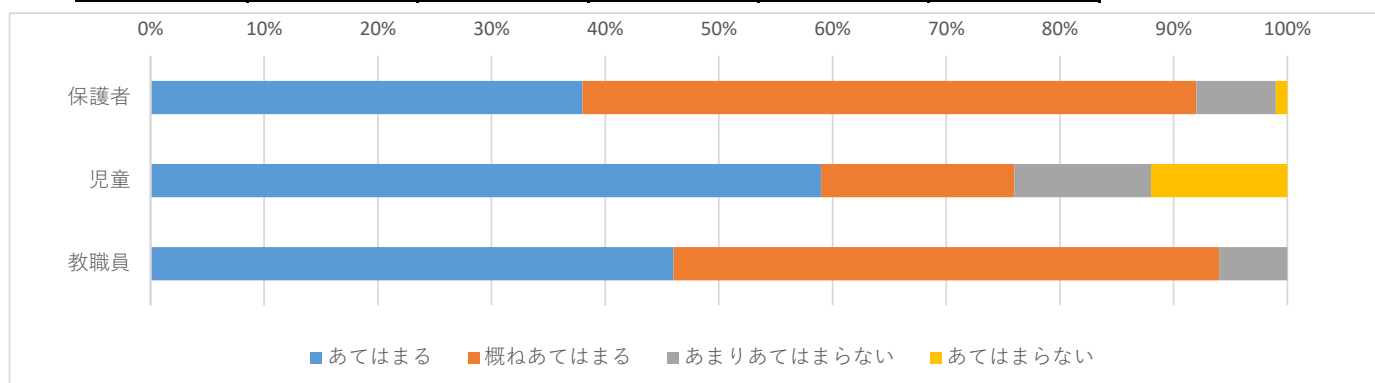
保護者、児童ともに95%、教職員は100%が肯定的回答でした。保護者と教職員が連携して、児童に思いやりや他者との関わり方を指導してきた結果と受け止めています。今後も、他者を尊重するとともに自分を大切に作る心を育めるよう道徳教育やインクルーシブ教育の推進に努めていきます。

⑦ 学校は、子どもの心身の健康や学習、子育てについて相談に乗ってくれている。〈保〉

わたしは、学校に相談ポストや相談室など、相談するところがあるのを知っている。〈児〉

私は、並木っ子の心身の健康や学習、子育てについて保護者が相談しやすい機会を設けている。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	38%	54%	7%	1%	100%
児童	59%	17%	12%	12%	100%
教職員	46%	48%	6%	0%	100%



〈考 察〉

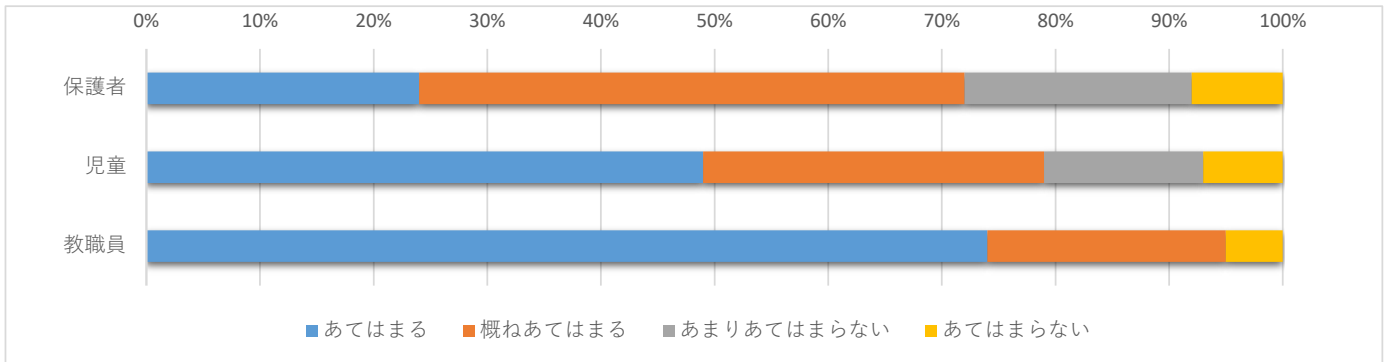
保護者は92%、教職員は94%が肯定的な回答で、大きな差は見られませんでした。一方で、児童は76%となり、保護者・教職員と乖離が見られました。保護者にはホームページや保護者連絡システムなどで周知を図っている成果が見られましたが、児童には周知が足りていないことがわかりました。相談先をよく知っている児童はとて多いので、よく知らなかった児童にも理解が進むよう掲示や放送などを活用して周知を図っていきます。

(3) 【学習】について

⑧ わたしは、並木小学校の教育目標を知っている。〈保・児・教〉

【一未来を見つめ 今を生き抜く並木っ子一心やさしく かしこく たくましい 子どもの育成】

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	24%	48%	20%	8%	100%
児童	49%	30%	14%	7%	100%
教職員	74%	21%	0%	5%	100%



〈考 察〉

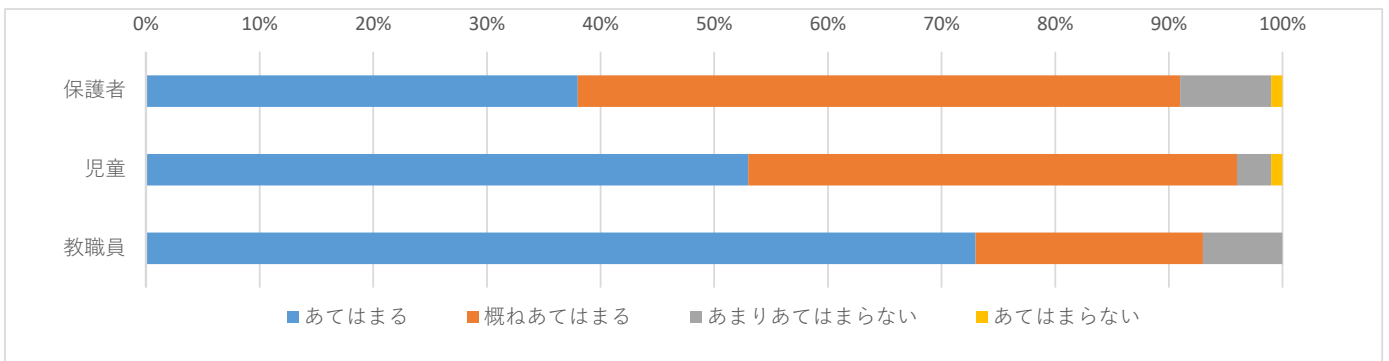
教育目標は校長が目指す児童の姿に直結するとともに、教職員一丸となって達成する道標となるものです。児童は79%、保護者は72%が知っていると回答しているものの、周知不足であると感じています。今後は校内の掲示物を充実させるとともに、ホームページや保護者連絡システムを活用して、周知を図っていきます。また、教職員に対しても肯定的な回答100%を目指します。

⑨ 子どもは、授業に意欲的に参加し、学習内容を身につけている。〈保〉

わたしは、授業に進んで参加し、勉強したことが身につけている。〈児〉

私は、並木っ子が授業に意欲的に参加し、学習内容を身につけられるよう指導している。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	38%	53%	8%	1%	100%
児童	53%	43%	3%	1%	100%
教職員	73%	20%	7%	0%	100%

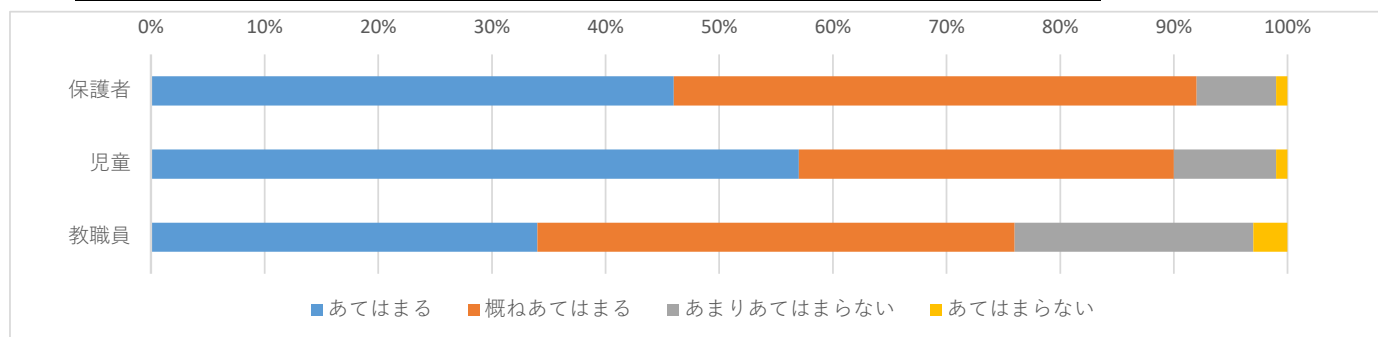


〈考 察〉

保護者・児童ともに90%以上が肯定的な回答となっています。教職員の日々の授業改善や授業研究が成果として現れていると感じます。しかし、保護者の回答では【概ねあてはまる】が53%と多く、児童は学習内容を理解しているものの、より一層の習熟が求められていると考えます。今後も学力向上を主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図っていきます。

- ⑩ 子どもは、授業でタブレットなどICT機器を使って学習を行っている。〈保〉
 わたしは、授業中にタブレットを使って勉強できている。〈児〉
 私は、並木っ子にタブレット等のICT機器を使って学習に取り組ませている。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	46%	46%	7%	1%	100%
児童	57%	33%	9%	1%	100%
教職員	34%	42%	21%	3%	100%

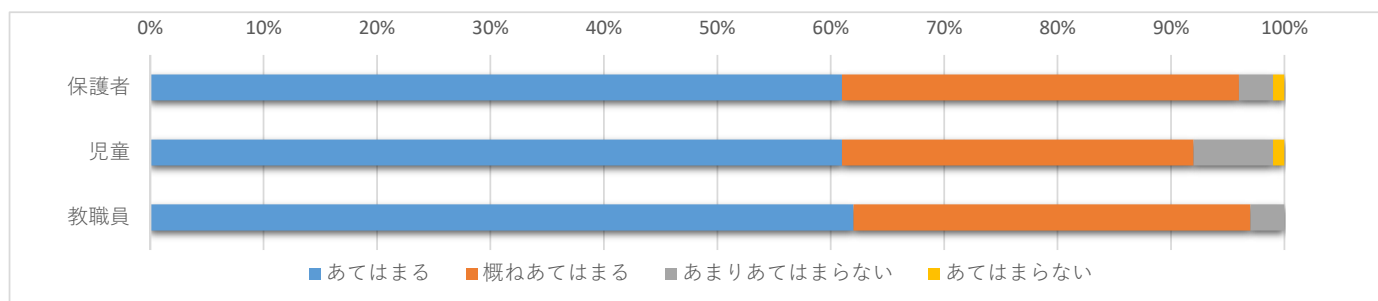


〈考 察〉

教職員が76%にもかかわらず、保護者・児童は90%以上の肯定的な回答となった。これは昨年度も同じ傾向であった。教職員はICT機器を活用した授業改善に意欲的である表れと感じる。教職員の研修の場・時間を設定し、実践例を共有するなどして活用改善を図っていく。

- ⑪ 子どもは、学校行事や校外学習等の体験的な活動に積極的に取り組んでいる。〈保〉
 わたしは、学校行事や校外学習など、いろいろな活動に積極的に取り組んでいる。〈児〉
 並木っ子は、学校行事や校外学習等の体験的な活動に積極的に取り組んでいる。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	61%	35%	3%	1%	100%
児童	61%	31%	7%	1%	100%
教職員	62%	35%	3%	0%	100%

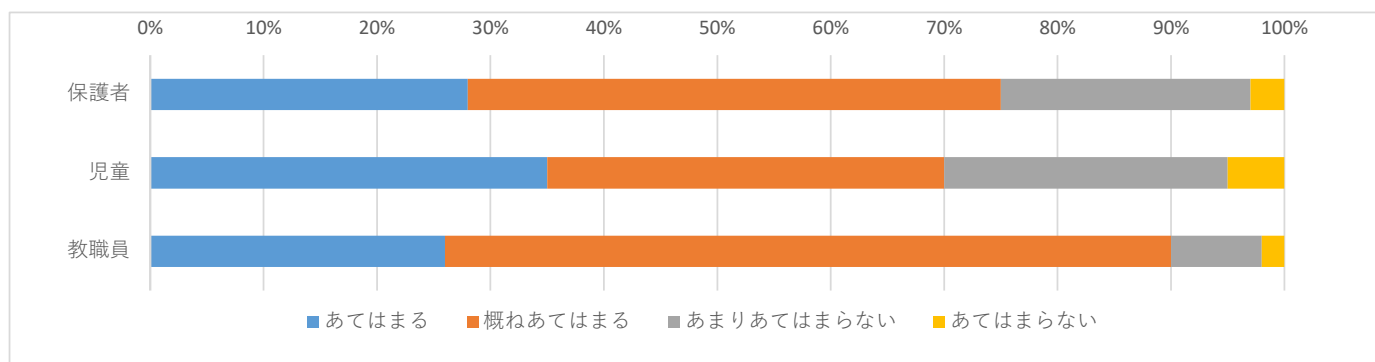


〈考 察〉

保護者・児童・教職員ともに肯定的な回答が92%を超えている。児童の学校行事や校外学習に積極的に取り組んでいる実感が家庭にも伝わっている。今後も児童に役割を与え、自分達が学校行事や校外学習を作り上げているという実感を味わわせるとともに、魅力ある学校行事・校外学習になるよう企画運営を工夫改善していく。

- ⑫ 子どもは、自分の考えや思っていることをみんなの前で発表することができる。〈保〉
 わたしは、自分の考えや思っていることをみんなの前で発表することができる。〈児〉
 並木っ子は、自分の考えや思っていることをみんなの前で発表することができる。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	28%	47%	22%	3%	100%
児童	35%	35%	25%	5%	100%
教職員	26%	64%	8%	2%	100%



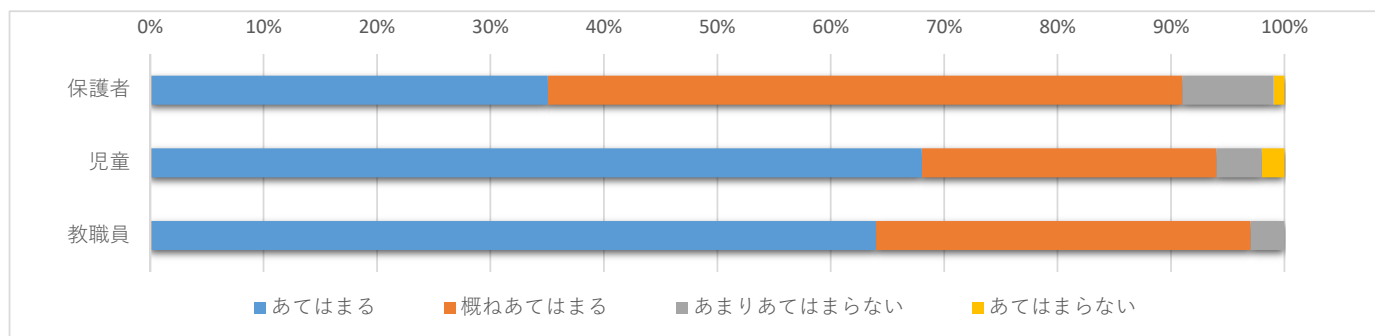
〈考 察〉

他の設問と比較して、肯定的な回答が保護者・児童・教職員ともに低い傾向が見られる。回答結果と日頃の様子から、全く発表できないという捉えではなく、苦手意識があるという捉えであると想定できる。授業の工夫はもちろん、学級経営の視点から支持的風土の醸成を推進するとともに、発表の仕方や発表に至る過程について見通しを持てるように研修を進めていく。

(4) 【教員・地域】について

- ⑬ 学校の先生は、いじめ防止のために子どもの悩みや相談に親身に対応してくれている。〈保〉
 学校の先生は、いじめ防止のためにあなたの悩みや相談を聞いてくれている。〈児〉
 私は、いじめ防止のために並木っ子の悩みや相談に親身に対応している。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	35%	56%	8%	1%	100%
児童	68%	26%	4%	2%	100%
教職員	64%	33%	3%	0%	100%

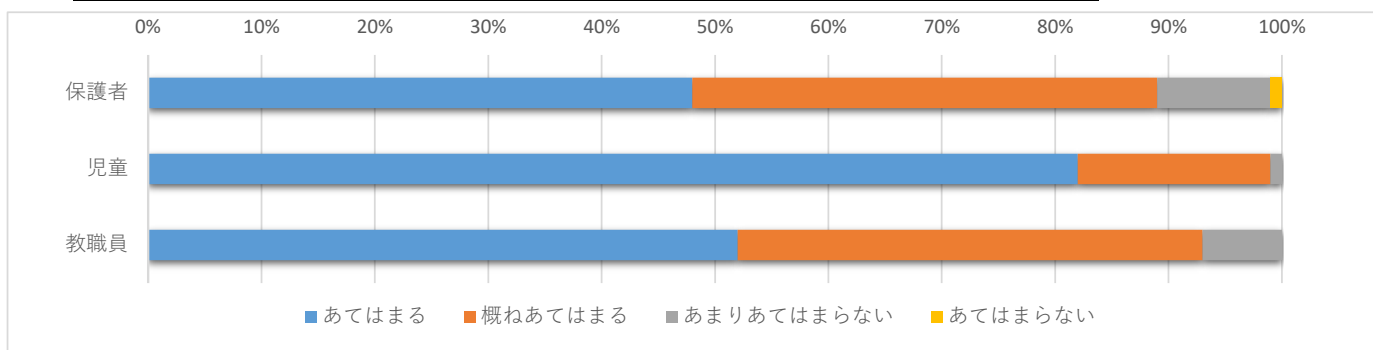


〈考 察〉

保護者・児童・教職員ともに91%以上の肯定的な回答があった。教職員で【あまりあてはまらない】を選択している職員は業務上相談を受けない職員であるため、実質100%の職員が親身に対応しているとしている。一方、保護者の56%は【概ねあてはまる】、9%は否定的な回答としていることから、場合によっては親身に対応してくれているとは言えない状況を経験している可能性がある。教職員研修を通して、傾聴を心掛けるよう指導するとともに、いじめは絶対に許さないという姿勢を示していく。

- ⑭ 学校の先生は、熱心に授業に取り組み、子ども一人ひとりにきめ細かな指導をしている。〈保〉
 学校の先生は、熱心に授業に取り組んでくれている。〈児〉
 私は、熱心に授業に取り組み、並木っ子一人ひとりにきめ細かな指導をしている。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	48%	41%	10%	1%	100%
児童	82%	17%	1%	0%	100%
教職員	52%	41%	7%	0%	100%

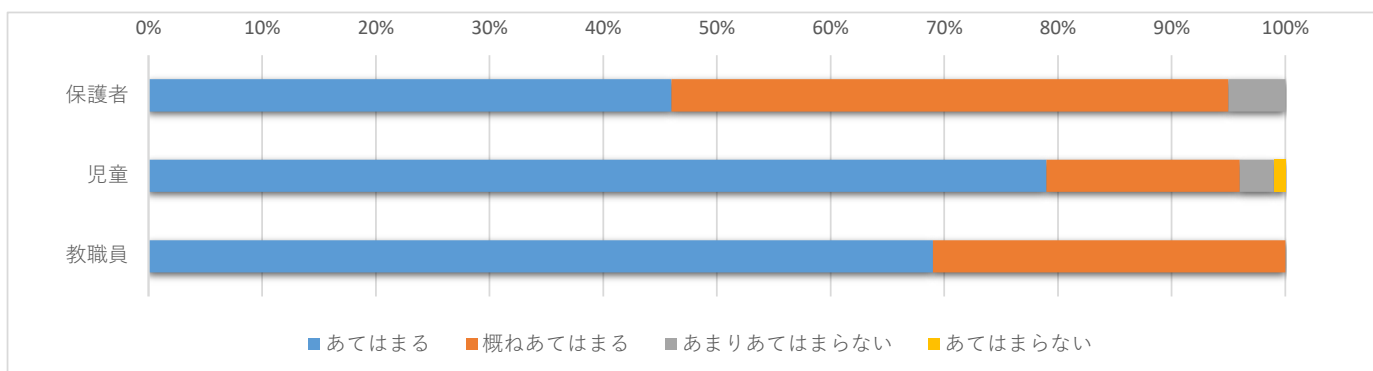


〈考 察〉

保護者では89%となっているものの、児童の99%が肯定的な回答となっており、教職員の熱心さが伝わっていることが素直に嬉しく思う。保護者においても、【あてはまる】が昨年度よりも10%程多くなっている一方、否定的な回答が11%となっている。教職員一人ひとり勤務時間内の中できめ細やか指導を心掛けていることから、学校教職員一丸となって指導に当たれる仕組みづくりを今後も模索していく。

- ⑮ 学校の先生は、子ども達の安全な環境や安心な居場所づくりについて積極的に取り組んでいる。〈保〉
 学校の先生は、安全や安心について話をしてくれている。〈児〉
 学校は、並木っ子の安全・安心について積極的に取り組んでいる。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	46%	49%	5%	0%	100%
児童	79%	17%	3%	1%	100%
教職員	69%	31%	0%	0%	100%

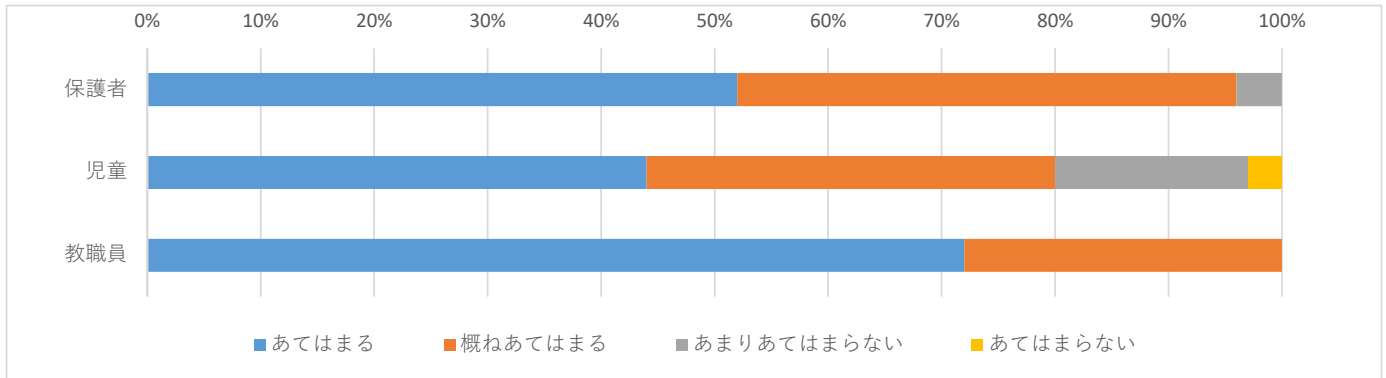


〈考 察〉

教職員は肯定的な回答が100%である。教職員の取組を受け、保護者・児童ともに95%以上の肯定的な回答となっている。児童では、【あてはまる】が79%と高い数値となった。これは、校内の環境整備や多様な居場所の提供の成果と捉えられる。保護者や児童の【概ねあてはまる】が少なくない数値であること、否定的な回答もあることから、第三者の視点からのご意見を踏まえ、安心安全な学校づくりを推進していく。

- ⑩ 学校は、教育活動の内容や子どもの様子について、学年・学校だよりやホームページで伝えている。〈保〉
 学校の先生は、学校でのあなたの様子を手紙や配信、ホームページなどで伝えてくれている。〈児〉
 学校は、教育活動の内容や並木っ子の様子について、学年・学校だよりやホームページで伝えている。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	52%	44%	4%	0%	100%
児童	44%	36%	17%	3%	100%
教職員	72%	28%	0%	0%	100%

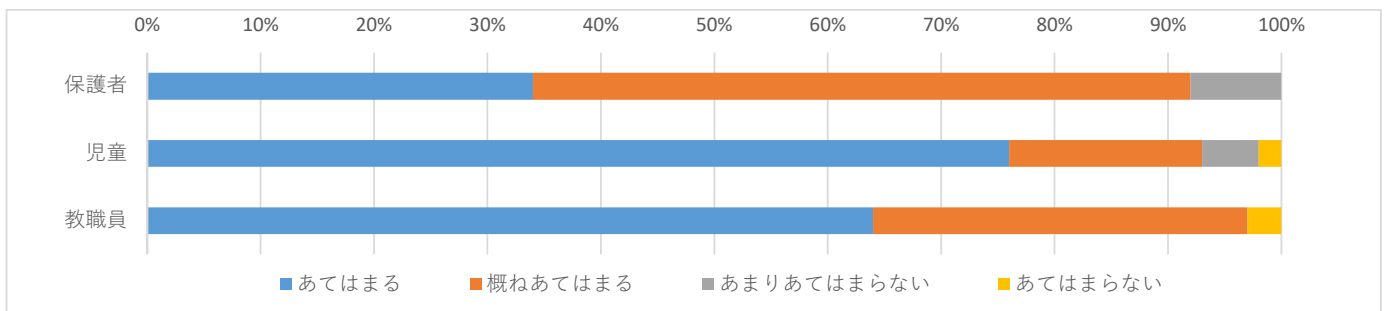


〈考 察〉

保護者・教職員は96%以上の肯定的な回答となった。一方、児童は20%が否定的な回答である。学校からの発信の多くは、ホームページや保護者連絡システムでの配信となっており、児童の目に届く発信が不十分となってしまった可能性が高い。今後は児童に届く発信方法を検討するとともに、保護者から児童に周知していただいたり、家庭での話題として活用していただいたりできるよう働きかけていく。

- ⑪ 学校や地域、保護者は、連携して子どもを育てようと、見守り活動をしている。〈保〉
 学校や地域の人たちが、あなたのために見守り活動してくれているのを知っている。〈児〉
 学校や地域、保護者は、連携して子どもを育てようと、見守り活動をしている。〈教〉

	あてはまる	概ねあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	計
保護者	34%	58%	8%	0%	100%
児童	76%	17%	5%	2%	100%
教職員	64%	33%	0%	3%	100%



〈考 察〉

保護者・児童・教職員ともに肯定的な回答が92%以上となった。児童の【あてはまる】が76%と高く、地域・保護者・学校が連携して見守っていることが児童にも伝わっており、これが安心感につながっていると推察できる。一方、保護者の【概ねあてはまる】が多いことから、誰がどこでどのように見守り活動を行っているか明確ではない方が多いと考えられる。今後も見守り活動を推進するとともに、周知の徹底を図っていききたい。

(5) 【その他 自由記述】について

貴重なご意見ありがとうございました。以下、いただいたご意見を踏まえて周知させていただきたいことをまとめました。

○学校行事の考え方

持久走記録会では、自分自身の目標を設定し、目標達成を目指して取り組める態度を育むことをねらいとしています。そのため、自分なりの目標（取り組み方やタイムなど）を設定することを大切にしよう指導しています。

また、運動会などの体育的行事では、順位をつけたり、協力してより良い表現をしたりするなど競技の性質に応じて指導していきます。

学校行事全体を通して、学校教育目標実現のためにねらいを定め、計画・実行するとともに、成果と課題を整理し、より良い学校行事となるよう必要に応じて見直しを図っていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

○学習活動についての発信

近年、学習の形態や評価の考え方が変容しつつあり、本校でも都度精査しているところです。児童の学び方についても、同様です。本校の研修でも、どのような学び方が子ども達のより良い学力向上につながるか検討しています。今後、学校全体で周知が必要なものは保護者の皆様にも情報発信を積極的に行っていきたいと考えています。

○暑さ対策について

今年度もサマータイム期間導入について、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。次年度もサマータイム期間を導入する計画で教育課程を精査しています。その中で、サマータイムの在り方についても検討を重ねていきますので、引き続きご理解とご協力をいただけますようよろしくお願い致します。

なお、登下校などその他の暑さ対策についても、いただいたご意見を踏まえ、より安全安心で学習に集中できる対策を講じていき、周知徹底を図っていきます。

今後も子ども達が学校内で安全・安心に過ごせるよう、学校教育目標のもと、教職員一同誠心誠意取り組んでまいります。保護者の皆様には、子ども達の成長をともに支えていけるよう協力をいただけますようよろしくお願い致します。